

話 題

日本ではじめての義肢・補装具の研究開発機関誕生 労働福祉事業団 義肢センター

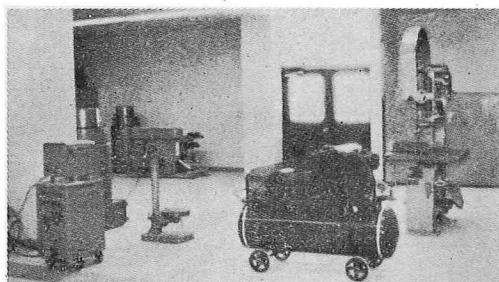


全 景

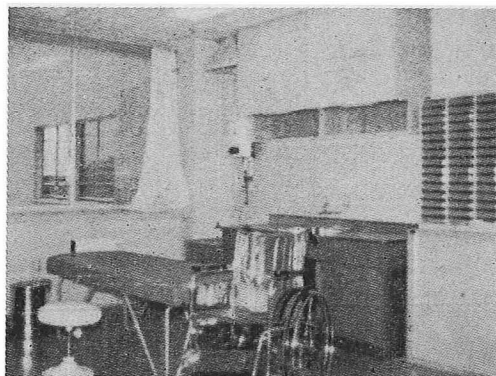
近年、日本におけるリハビリテーション医学への認識が高まるにつれ、義肢・補装具の現状に対する不満と改善への機運が盛り上がりつつある。“労働福祉事業団 義肢センター”は、日本で最初の純粋な義肢・補装具の総合研究開発機関として、名古屋市の中部労災病院構内に開設された。

研究の内容は、人間——器械系としての観点から義肢・補装具を捕えて各種の分析、評価を行なう人間工学研究部門と、新材料、新技術の開発、義肢・補装具部品の試験、試作、体外動力源義肢の試作などを行なう試験開発研究部門に大別され、最新の生体現象観測装置と各種の金属工作機械、試験機、義肢・補装具製作用の機器が備えられる。

職員の大多数は機械、電気、あるいは金属、高分子のエンジニア、技術者であり、わが国の工学のレベル



工 作 室



診 察 室

の高さから考えても、画期的な成果が得られるものと期待される。

(労災義肢センター研究部長 青 山 孝)